

◇生徒の実態
→本校の教育課題
◇保護者・地域の願い
◇時代や社会の要請

学校教育目標

**生徒一人一人の個性の伸長を図り、徳・知・体の
調和のとれた、感謝の心をもつ自立した生徒の育成**

〈国・市の動向〉
・学習指導要領
・北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
・北九州市学力・体力アクションプラン第2ステージ
・業務改善プログラム
・SDGs ・オリパラ
・Society5.0

めざす学校像

- ★安心・安全な学校
- ★美しく整備された学校
- ★保護者・地域から信頼される学校
- ★さわやかな雰囲気と凛とした空気のある学校
- ★危機に対応できる学校

めざす生徒像

- ★自己実現力(考動力)のある生徒
- ★感謝の気持ちを持てる生徒
- ★自ら学び努力する生徒
- ★心身ともに健康な生徒
- ★自分の個性(よさ)を自覚し伸ばそうとする生徒
- ★菊陵中プライドを持てる生徒

めざす教師像

- ★教育のプロとしての意識を持ち資質能力の向上を目指す教職員
- ★やりがいと誇りを持つ教職員
- ★高い危機管理意識を持った教職員
- ★生徒・保護者から信頼される教職員
- ★明るく・支え合う教職集団を創る一員としての意識を持つ教職員

「カテイ」を大切にする 課程・過程・仮定・家庭

重点目標及び具体的な方策

1 心の育ちの推進

- ①道徳授業力のアップ
 - ・推進事業による校内研修や公開授業等の実施
 - ・「感謝」「自立」の重点項目化
- ②生徒指導の推進
 - ・凡事徹底(挨拶 掃除 時間を守る 整理整頓 服装)
 - ・“ホウレンソウカク”と記憶より記録の徹底
 - ・組織的・機動的な生徒指導体制の確立(特に長欠生徒対応)
- ③国際理解教育の推進
 - ・SDGs 推進校の実践(SDGs 啓発 服プロジェクト JICA 交流)
 - ・帰国外国人児童生徒教育センター校としての役割
- ④学級活動・生徒会活動の充実
 - ・学年・学級目標の設定と帰りの会の時間を有効に活用する
 - ・生徒会常置活動の徹底と生徒会行事の充実
- ⑤教科等横断的な取組の充実
 - ・人権教育…新版「いのち」「子どもつながりP」や「明日への伝言板」
 - ・進路指導…職場体験 進路説明会 農泊
 - ・情報教育…情報モラル タブレット授業導入
 - ・防災教育…避難訓練
- ⑥小中連携
 - ・生徒…自学ノートの交流 教職員…人権交流会 相互授業参観

2 学力・体力の向上

- ①教科授業力のアップ
 - ・校内研修や公開授業の実施と「わかる授業づくり5ポイント」の日常化
 - ・ICT 活用した授業実践(全教員が必ずタブレット活用授業を実践)
 - ・教科部会を中心としたカリキュラムマネジメント(学力調査・体力テスト等から課題を分析し、全職員が共通理解し、学校全体で取り組みを進める)
 - ・新学習指導要領に対応した指導(各教科の見方・考え方、評価)
- ②学力向上委員会を機能させた取組の推進
 - ・全校生徒に学習についてプレゼンを行う
 - ・授業規律の徹底…立腰と話し合いや振り返りのルール化
 - ・基礎学力の定着…朝自習の工夫 放課後教室(水曜日実施) 読書活動の推進(朝読)
- ③生徒一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・「ゴクトレ」の活用
 - ・個別の指導計画等の確実な作成と引き継ぎ
- ④体力向上にむけた創造的な取組
- ⑤学校・教室環境の整備と校内・教室掲示の充実

3 信頼される学校づくり

- ①積極的な情報発信
 - ・各種通信の発行・「いっせいくん」の効果的な活用等
 - ・学校HPの積極的な更新
- ②家庭・地域・関係機関との連携の強化
 - ・積極的な諸行事等への参加 SC やSSWの活用
- ③『北九州市型コミュニティ・スクール』への円滑な移行をめざす学校評価アンケートの実施と活用
- ④授業参観、体育大会、文化発表会、講演会等の公開で行う教育活動の充実
- ⑤積極的な保護者との連絡と適切な家庭訪問
- ⑥帰国外国人児童生徒教育センター校
 - ・センター校会議等やインターシップ

PDCA サイクルの確立

4 業務改善の推進

- ①働き方改革(ワークライフバランス)の推進
 - ・勤務時間減の対策…システムによる管理 留守電の活用
 - ・仕事量の削減と均衡化…行事の精選 副担任の活躍
 - ・会議削減等…時間割の工夫 企画委員会の充実 ペーパーレス
- ②チーム菊陵の意識向上とOJTの推進
 - ・支え合う 気配り 年休等が取りやすい環境づくり
- ③業務改善委員会の運営
- ④定時退校日、部活動休養日の順守
- ⑤部活動の積雪な運営
 - ・効果的な練習計画と適正な休養日
- ⑤学校事務職員の学校経営への参画促進